日本経済新聞（朝刊） 第44428号 平成21年9月30日（水） P.35

こんな物まで

靴も バッグも セミオーダー

既製品並み価格 女性支持

色や素材、形などを選ぶことができ、自分のサイズに仕立てる「セミオーダー」を利用する人が増えている。定番のスーツやシャツから、靴やバッグにまで広がり、価格も既製品と変わらない手ごろなものが多くなってきたからだ。自分好みのデザインでサイズも合うので、無理なく長く使えることに支持が広がっている。

パンプスの素材や色を自由に組み合わせることができる（東京・池袋の西武池袋本店）

「オーダー品はもっと高いイメージがあった。1万円台で好みの色や形が選べるなんて」。西武池袋本店（東京・豊島）の婦人靴売り場を訪れた主婦（40）が目を留めたパンプスが「オリジナルオーダー バレエシューズ」だ。

素材や色で30種類、ヒールの高さや形が4種類、飾りのリボンの色で23種類あり、自分だけの1足が作れる。価格は大人用で1万3440～1万4490円。同店のパンプスの平均価格は約1万5000円で、既製品と変わらぬ値段で作れるわけだ。パンプスは同店では通常1商品で週に10足売れれば売れ筋だが、30代を中心に毎週40～50足の注文がある。

バッグでも持ち手と本体を自由に組み合わせられるセミオーダーが人気だ。高島屋新宿店（東京・渋谷）の「アンジュール アンサック」。持ち手はヤギ皮と水牛皮の素材や、黒、茶などの色、長さは手持ちから肩掛けタイプまで3センチ刻みで指定できる。本体も売れ筋の縦横20センチ×20センチ強のトートバッグ中心に大きさや型違いがあり、組み合わせは1万通り以上になる。

売り場を訪れた会社員の女性（36）は「給料が減ったので昔ほどは洋服や小物が買えない。せっかくなら満足できるものが欲しい」と話す。同店ではパーツの追加購入を含めて月約300人が購入していく。

多忙な女性の間ではネットでのセミオーダーも広がる。パターンオーダースーツのネット通販を手掛けるエニーズ（大阪市）は通常、ジャケットとパンツのセットが7万9800円だが、生地と型を限れば2万9800円で利用できる。

それでもジャケットは9サイズ、パンツが8サイズから選べ、着丈は5センチ、袖丈で7センチ出したり縮めたりできる。股下は60～85センチの間で1センチ単位で指定でき、ぴったりに仕立てられることなどがうけ、8～9月の売上高は前年比約1・7倍。「スーツをじっくり選ぶ時間がないという20代後半から40代前半の金融機関の営業職などが夜間や週末に注文するケースが多い」（同社）という。

男性用スーツでもじわりとセミオーダー派は増加。東急百貨店ではプライベートブランド（PB＝自主企画）の紳士スーツの9月の売り上げ構成比でパターンオーダーが前年同月に比べ1割高い約6割に達し同シリーズの既製品を上回った。

手ごろな価格ならオーダー品。セミオーダーがそんな消費者の思いの受け皿になっている。

ダウンジャケット

消費の現場

思い出凝縮

デジタルカメラで撮った写真を最短5分でフォトブック（写真集）にできるセルフ式の印刷・製本機がビックカメラ有楽町店（東京・千代田）にお目見えした。デジカメのメモリーカードを機械に差し込み、写真集に入れるお気に入りの画像をタッチパネルで選ぶ。タイトルを入力し、用意された10種類の背景デザインから好きなものを決めれば、自動で写真を配置。レジで会計を済ませれば、製本の開始だ。

友達や恋人と撮った写真で2冊つくった女性会社員（24）は「誕生日のプレゼントにぴったり。すぐにできるし、1枚ずつ